調査票	令和06年度

施設カルテ

施設番号：536　　施設名：別府市西部地区体育館

施設の概要

所在地	大字南立石2139番地の15	運営形態	直営（一部委託を含む）				
所属課	社会教育課	年間運営日数（日）	358.00				
利用圏域	地区	運営時間※1	開館	09:00	閉館	22:00	
コミュニテイ区分	中部	運営人員（人）※2	正職員		任用職員	5.00	
施設用途	スポーツ・レクリエーション系施設		その他				
中分類	スポーツ施設	指定管理者・委託者等					
設置目的	地域住民の健康増進並びに競技力向上の場を提供するとともに、社会体育を推進するため設置された。中学校の部活動やミニバレー、卓球、剣道、空手などに利用されている。	防災拠点施設指定	指定なし				
		最寄りの類似施設	施設名		距離（m）		
設置条例	別府市公民館条例	外観					
施設の現況	開設年月日：S59.4.1／主な利用者：市民／用途地域：第二種住居地域／標高：103／駐車可能台数：37						
建設費（円）	85,180,000						
取得価額等（円）	123,480,000						
補助金額（円）							
減価償却累計額（円）	111,378,960						
老朽化比率	90.20%						
施設概要	危険区域等の有無：噴火（鶴見岳）避難所の指定：津波／地震／洪水／土砂／噴火（伽藍岳）／高潮						

土地情報

敷地面積（㎡）	1,219.99
所有区分	公有

建物状況

名称	構造	階数	建築面積（㎡）	延床面積（㎡）	建築年月日	法定耐用年数	老朽化状況※3	新耐震基準※4	耐震化状況	バリアフリー状況
西部地区体育館	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	1		686.00	1984/02/29(築41年)	47	老朽化が進行している	○		一部対応している

スペース構成の状況

名称	利用料収入（円/年）	延床面積(㎡)	年間利用者数（人/年）	利用目的別 利用者内訳（人/年）					利用状況	稼働率(%)	備考
				主催事業	サークル	地域利用	官庁利用	一般利用			
体育館	1,705,672	686.00	14,371					14,371	目的使用	58.80	2738/4654

※1：24時間の場合は0:00～23:59と表記している

※2：業務時間の割合で按分を行った場合は、小数点で表示している

※3：稼働年数が耐用年数の
1/3未満　：問題なし
1/3以上2/3未満：老朽化対策の検討が必要
2/3以上　：老朽化が進行している

※4：1981年6月1日以降に建築確認を受けたものを○とする

調査票	令和06年度

施設カルテ

施設番号：536　　施設名：別府市西部地区体育館

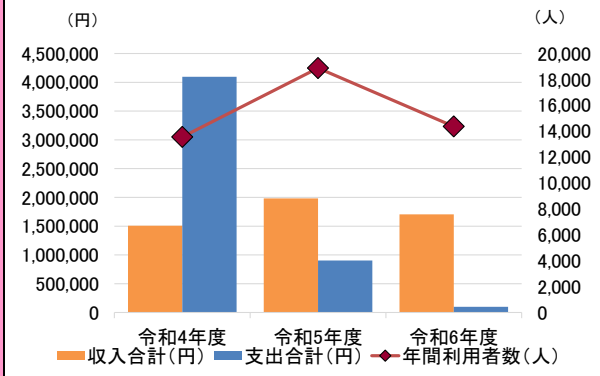
収入の状況

項目		令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
収入	施設使用料収入	1,508,371	1,983,013	1,705,672
	財産貸付料収入・目的外使用料収入	0	0	0
	負担金	0	0	0
	その他の収入	0	0	0
収入合計（円）		1,508,371	1,983,013	1,705,672

利用状況

項目	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
利用者	13,558	18,877	14,371
年間利用者数（人）	13,558	18,877	14,371

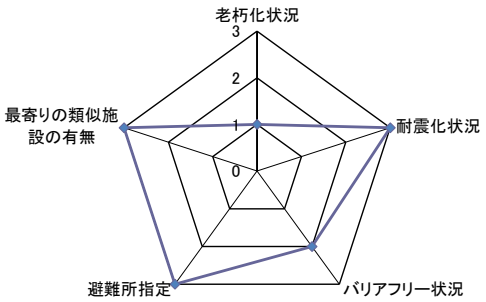
収支と利用者数の推移



支出の状況

			令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
直営_人に係る支出	人件費		0	0	0
直営_施設に係る支出	光熱水費		0	0	0
	工事請負費・修繕料		4,097,500	903,100	0
	土地・建物の賃借料		0	0	0
	土地・建物以外のリース料		0	0	0
	施設・設備管理委託料		0	0	0
	施設に係る_その他		0	0	99,000
直営_事業運営に係る支出	事業委託費		0	0	0
	事業物件費（需用費・役務費等）		0	0	0
	事業運営に係る_その他		0	0	0
指定管理料	指定管理料		0	0	0
支出合計（円）			4,097,500	903,100	99,000
利用者1人あたりのコスト（円/人）			302	48	7
1㎡あたりのコスト（円/㎡）			5,973	1,316	144
稼働日あたりのコスト（円/日）			11,446	2,516	277
支出に対する収入の割合			36.81%	219.58%	1722.90%
減価償却費（円）			2,716,560	2,716,560	2,716,560
減価償却費を含む支出合計（円）			6,814,060	3,619,660	2,815,560
減価償却費を含む支出に対する収入の割合			22.14%	54.78%	60.58%

レーダーチャート



老朽化状況についての判断方法	建物状況の老朽化状況により点数の決定を行い、 平均値を施設の得点とする。（小数点以下四捨五入） 『問題なし：3点』 『老朽化対策の検討が必要：2点』 『老朽化が進行している：1点』 『未登録：0点』
耐震化状況についての判断方法	新耐震基準が「○」の場合は3点とし、 それ以外の場合は建物状況の耐震化状況により点数の決定を行い、平均値を施設の得点とする。（小数点以下四捨五入） 『耐震化状況　実施済：3点』 『耐震化対策中：2点』 『耐震化対策が必要：1点』 『未登録：0点』
バリアフリー状況についての判断方法	建物状況のバリアフリー状況により点数の決定を行い、 平均値を施設の得点とする。（小数点以下四捨五入） 『全対応：3点』 『一部対応：2点』 『未対応：1点』 『未登録：0点』
避難所指定についての判断方法	避難所指定の建物がある場合は3点とし、 ない場合は1点とする。
最寄りの類似施設の有無についての判断方法	最寄りの類似施設がない場合は3点とし、 ある場合は1点とする。